

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 11 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 藤田 聡一郎	
共創-21	実施事業	川喜多映画記念館等管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化人権課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	映画や映像文化の発信拠点である川喜多映画記念館及び旧川喜多邸の別邸であった旧和辻邸の適正な管理運営を図るため。
効果	訪れた市民などが、川喜多夫妻の功績にふれながら、映画の資料や鎌倉の風情を楽しむことにより文化意識の醸成を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<p>・指定管理者による川喜多映画記念館等の効率的な管理運営を実施するとともに、施設の維持管理を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	22,385人	20,390	事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	36,318	37,916	当初予算(千円)	37,074
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	4	4	その他	566
	一般財源	36,314	37,912	一般財源	36,508
	人員配置数	0.7	0.7	人員配置数	0.7
事業経費運営	総事業費(千円)	41,890	43,696	総事業費(千円)	42,693
	市民1人当りの経費(円)	238	248	市民1人当りの経費(円)	242
	対象者1人当りの経費(円)	1,871	2,143	対象者1人当りの経費(円)	
				会計年度任用職員配置数	0.0
			人件費(千円)	5,619	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> -1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> -2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民団体（不特定）
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 引き続き、指定管理者と連携しながら、効率的な管理運営と施設の適切な維持管理を行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	効率性については、指定管理者の選定を実施した際に指定管理料の上限を削減して公募したため当面は、「事業費の削減余地」は「なし」と考えている。川喜多映画記念館は全国的に見ても数少ない映画文化の発信拠点である。また、旧和辻邸は景観重要建造物に指定され、春秋の一般公開の他、イベント等の会場として活用しており観覧の機会を提供している。 令和元年度の来館者数は前年度に比べ約8.9%減少した。天候不順や新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の影響もあり、減少したと考えられる。今後は、新しい生活様式を踏まえた上での運営を試行することとなるため、「事業の成果は概ね出ているが、更なる努力が必要」とした。市民等が企画段階から参加する事業を各年度実施し、市民団体等との協働に努めている。 引き続き、映画文化発信拠点として更なる事業の充実を図りつつ、新しい生活様式に合わせた安定した運営のあり方を模索していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数は前年度(平成30年度)の水準を維持しつつ、指定管理者の赤字となった指定管理業務の収支を改善し、運営の効率化を図る必要がある。</li> <li>事業の目的に沿った次期の指定管理者を選定する必要がある。</li> </ul>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数は、天候不順や新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館の影響もあり前年度(平成30年度)を下回ったが、上映作品の精査や事前チケット購入方法の改善を図ったことで収益が増加し、収支決算は、赤字となったが、差額を大幅に縮減した。</li> <li>指定管理者の公募を実施し、適正に選定した結果、次期の指定管理者を指定することができた。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスを意識した「新しい生活様式」に合わせた施設運営が求められる一方、安定した運営も必要であることから、工夫を重ねながら、最適な運営のあり方を模索する。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	来館者数	単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
より多くの市民等に施設を利用してもらうため	目標値	24,050.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	
	実績値	23,675.0	27,125.0	27,382.0	20,973.0	22,385.0	20,390.0	
	達成率	98.4%	108.5%	109.5%	83.9%	89.5%	81.6%	
指標の内容	施設利用満足度	単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
事業内容の質と施設環境の快適性を確認するため	目標値	-	-	-	80.0	80.0	80.0	施設内アンケートで職員対応、展示内容、上映作品の選定、施設環境で大変満足、満足と回答した割合
	実績値	-	-	-	78.3	77.5	85.3	
	達成率	-	-	-	97.9%	96.9%	106.6%	
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	来館者数は、前年度(平成30年度)実績値を下回り、目標値にも届かなかったが、原因として天候不順や新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の影響もあり、減少したと考えられる。施設利用満足度は、目標値を上回ることができた。上映作品の精査や事前チケット購入方法の改善などが奏功したと評価している。							